

## 流行した場合の町の対策

町では、今年5月に策定した「中泊町新型インフルエンザ対策行動マニュアル」に基づき、〈表1〉の各発生段階に応じて、各課が必要な対策を速やかに取ることにしています。

〈表1〉中泊町新型インフルエンザ対策における危機管理体制

国における発生段階の区分		状態	対策本部の設置等	町危機管理レベル
前段階(未発生期)		新型インフルエンザが発生していない		未発生期
第一段階(海外発生期)		海外で新型インフルエンザが発生した状態	対策班を設置	町内注意レベル
第二段階(国内発生早期)		国内で新型インフルエンザが発生した	幹事会を設置	町内警戒レベル
第三段階	各都道府県の判断	国内で、患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった事例が生じた状態	対策本部を設置し、「非常事態」を宣言し必要な対策を講じる	町内危険レベル
		感染拡大期 各都道府県において、入院措置等による感染拡大防止効果が期待される状態		
		まん延期 各都道府県において、入院措置等による感染拡大防止効果が十分に得られなくなった状態		
	回復期 各都道府県において、ピークを超えたと判断できる状態			
第四段階(小康期)		患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態		

### 新型インフルエンザ特集 ■ 町の対策

今春にメキシコから発生した新型インフルエンザ。時を追うにつれ、世界各地での発生が確認され、全世界での死者も2千人を超えました。WHO(世界保健機構)は、6段階ある警戒水準の中でもっとも高いフェーズ6(パンデミックII世界的大流行)を宣言しています。

また国内では、8月15日(土)に初の死者が確認され、通常は流行しない夏になっても依然流行が収束していません。8月19日(水)には舩添厚生労働相が、「本格的な流行が始まった」ことを記者会見で発言していますので、油断のない対策が必要です。

学校や保育所・幼稚園が始まり、感染が広まりやすくなることも想定され、また季節性インフルエンザの流行期を迎えることや、新型ウイルスの毒性変化など不測の事態に対応することも必要になります。このため町では、7月16日(木)に「中泊町新型インフルエンザ対策本部」を発足させています。今月の特集では、新型インフルエンザについて取り上げます。

## 新型インフルエンザへの対処と備え

これを読めばわかります!!

今後、感染者が発生した場合は、各課が「町内危険レベル」に準じた対策・対処を次のように行います。

全 課			
管理する部署での発生状況把握			
<b>町民課(主管課)</b> 予防接種や手洗いなど予防策の周知徹底、保健所調査への協力など	<b>福祉課</b> 保育所閉鎖の判断、福祉施設の見回り、高齢者世帯の支援など	<b>総務課</b> 対処する職員の動員を要請、車両の運用など	<b>教育委員会</b> 学校の学級閉鎖や臨時休校、施設の閉鎖、事業の中止など
<b>水産観光課</b> 旅館業との連絡調整など	<b>農政課</b> 商店への協力要請など	<b>建設課</b> 交通機能の維持など	<b>小泊支所</b> 小泊地域の情報収集など



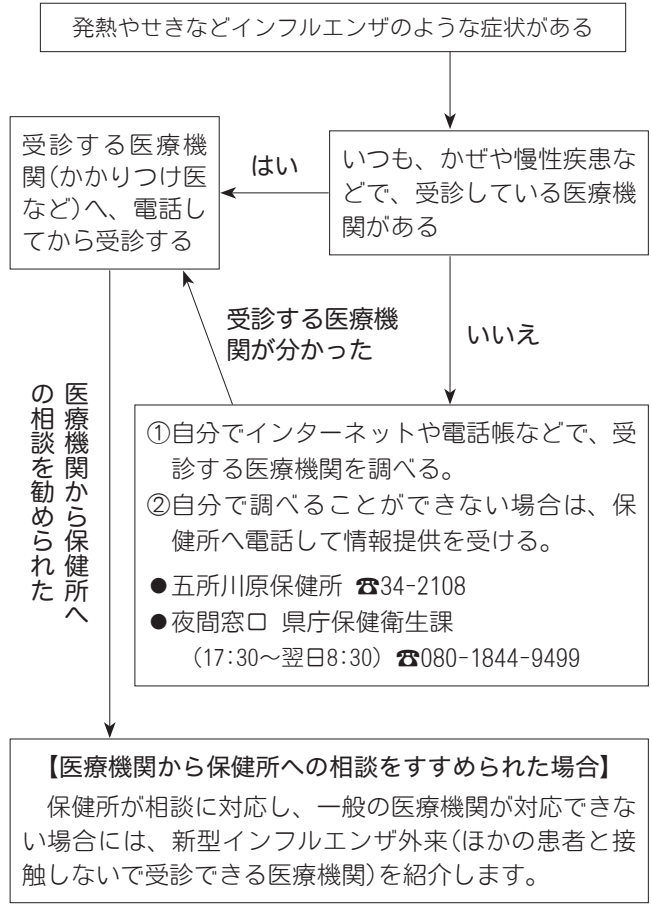
### 新型インフルエンザ情報ホームページ

- 新型インフルエンザ対策関連情報(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>
- 個人のできる対策(厚生労働省)  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/pdf/09-12.pdf>
- 新型インフルエンザ対策について(青森県庁)  
[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic\\_flu\\_action.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html)



※この特集の情報は、9月1日時点のものです。対策などは状況に応じて変わることがありますので、政府などの出す最新の情報をチェックしてください。

### 新型インフルエンザかな?と思ったら



※インフルエンザのような症状は、咳、鼻水、のどの痛み、高熱、全身倦怠感などです。  
※持病がある人(下を参照)は、まずかかりつけ医に連絡して、指示を仰いでください。

次のような方は、重症化するリスクが高いとされているので、予防策を徹底したり、早めに医療機関を受診するなど、特に注意してください。

- 持病がある人  
慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病などの代謝性疾患、腎機能障害など
- 妊婦、幼児、高齢者

〈参考〉厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/index.html>



米田博輝先生

### 小泊診療所の米田先生に聞きました

#### ●新型インフルエンザのふるまいや季節性のものとの違いは?

新型は、一般的に症状が軽いといわれていますが、従来の季節性は高齢者の死亡率が高いことに対し、今回の新型は基礎疾患(持病)を持つている方や、妊婦・幼児などの重症化が目立ち

ているようです。まだ分からないところが多いので、油断しないことが大事です。

#### ●新型や季節性のインフルエンザワクチンの確保見通しは?

季節性は例年の8割程度出荷するようなので、診療所では必要な量をその都度確保する予定です。

#### ●新型用は、どのような方へ優先的に接種するなど、まだ厚生労働省で検討中(8月20日現在)です。今後の情報に注意し

てくださいます。ありえます。新型が流行する以前でも、A型にかかったあとB型にかかったり、両方の型に同時に感染していたりなどしています。両方が流行することは十分考えられますので、注意してください。

#### ●新型と季節性の2つが流行する

ことはありますか?

処方したり、そのまま自宅療養の場合もあります。インフルエンザは治る病気です。抗ウイルス薬は、平均すると1日早く治る効果がありますが、必ずしも服用が必要というわけではないので、薬が処方されないからといって不安になることはありません。

#### ●新型にかかった場合の治療法は?

まず町民の方には、「予防策の徹底」と新型にかかった場合でも「落ち着いて行動すること」をお願いしたいです。特に予防は、手洗い、うがい、人混みでのマスク着用が効果的です。

#### 〈過去の

#### インフルエンザ大流行

1918~1919 スパインカゼ

アメリカで発生後、世界各地で猛威をふるい、全世界で6億人が感染したといわれます。日本でも、約40万人が犠牲になったと推定されています。

1957 アジアカゼ

香港から発生し、全世界に広まりました。日本では300万人が罹患し、5,700人が犠牲になりました。

1968 香港カゼ

これも香港から発生し、世界へ急速に広まってきました。日本では14万人が罹患し、2,000人が死亡しています。

1977 ソ連カゼ

中国北西部から発生し、現在のロシアに広まった後、日本でも流行しました。



# 新型インフルエンザの予防策

## 正しい手の洗い方

ウイルスをきちんと洗い流すには、石けんを使って写真のように洗い流すようにしましょう。15秒以上の時間を使い、流水で洗います。洗った後は、清潔なタオルでよく拭きましょう。



1 石けんを手のひらでこすり合わせ、泡立てます



2 手の甲をこすりながら洗います



3 つめの間や指先も忘れずに洗います。特につめの間は入念に洗います



4 指の間も洗います



5 親指を付け根から洗います



6 最後に手首を洗います。洗ったらタオルで拭くのを忘れずに

## 万一の感染に備え 家庭で備蓄するもの

万一感染してしまった場合は、他の人への感染を広げないために、しばらくの間外出しないことが必要となります。

そうした事態に備え、以下のものを備蓄するとよいでしょう。

### ● 食料品(長期保存可能なもの)の例 ●

米、乾めん類(そば、そうめん、ラーメン、うどん、パスタ等)、切り餅、コーンフレーク・シリアル類、乾パン、各種調味料、レトルト・フリーズドライ食品、冷凍食品(家庭での保存温度、停電に注意)、即席めん、缶詰、菓子類、ミネラルウォーター、ペットボトルや缶入りの飲料、育児用調製粉乳

### ● 日用品・医療品の例 ●

マスク(不織布製マスク)、体温計、ゴム手袋(破れにくいもの)、水枕・氷枕(頭や腋下の冷却用)、漂白剤(次亜塩素酸：消毒効果がある)、消毒用アルコール(アルコールが60%~80%程度含まれている消毒薬)、常備薬(胃腸薬、痛み止め、その他持病の処方薬)、絆創膏、ガーゼ・コットン、トイレットペーパー、ティッシュペーパー、保湿ティッシュ(アルコールのあるものとないもの)、洗剤(衣類・食器等)・石けん、シャンプー・リンス、紙おむつ、生理用品(女性用)、ごみ用ビニール袋、ビニール袋(汚染されたごみの密封等に利用)、カセットコンロ、ボンベ、懐中電灯、乾電池

- うがい
  - 1、口の中の汚れを取るように、ブクブクうがいをします
  - 2、いったん水を吐き出します
  - 3、もう一度口に水をふくみ、のどの奥までしっかりと、ガラガラうがいをします。(3回以上)
- マスクのつけ方と外し方(つけ方)

- その他の対策
  - ・ 不要不急の外出は避ける
  - ・ 目・鼻・口に触らない
  - ・ 体調の悪い人には近づかない
  - ・ 栄養バランスのとれた食事や十分な休養をとるなどして、体力・抵抗力を高める
- 守ろう！咳エチケット
  - ・ 咳やくしゃみをするときはテ

- ・ 上部を鼻筋に合わせる
- ・ 鼻・口・あごをおおう
- 〈外し方〉
  - ・ ひもを持って顔から外す
  - ・ マスク表面には触れずに捨てる
- ・ イッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、ほかの人から顔を背けて2m以上離れましょう。ティッシュペーパーなどがないときは、手よりも周囲に触れにくい曲げた肘あたりで押さえましょう。
- ・ 鼻汁や痰はティッシュペーパーに出し、すぐにふたつきのゴミ箱に捨てましょう。
- ・ マスクを正しく着用し、周囲の人や咳をしている人にマスクの着用をすすめましょう。ガーゼマスクは不適當です。透過性の低い不織布のマスクを使いましょう。